



笑顔あふれるまちづくり

いいぬま雅子

品川区議会議員区政報告

NO. 371. 2011. 12. 25.

福祉と防災のまちづくり問題山積

2012年度予算要望書を提出

日本共産党区議団12月14日

生活保護受給者5,295人、国民健康保険料滞納25.3%と昨年より増加。区民の生活は困難を深めています。大企業の内部留保が260兆円に膨らむ一方、国民所得は10年間で1割も減少。「後期高齢者医療も介護の保険料も値上げ、その上消費税増税ではやっていけない」と叫びが聞かれます。

国政にも区政にも命とくらしを守る政治が求められています。12月14日、区長を訪ね予算要望書を手渡しました。



① 福祉を犠牲にする財政効率優先の「行革」路線を改め、地方自治の本旨である住民の福祉の増進をはかること。

② 原発撤退の立場に立ち、放射能汚染から区民、とりわけ子どもたちを守るための抜本的な対策をとること。

③ 東日本大震災の教訓をくみ尽くし、防災、環境優先のまちづくりを進めること。

④ 「都市再生」の名による大型開発ではなく、区民のくらし、福祉、中小企業を守る立場を貫くこと。

⑤ 「プラン21」に基づく競争教育を改め、少人数学級を基本に質の高い平等、学びあいの教育に改めること。

⑥ あらゆる政策形成過程において、住民参加を徹底すること。

⑦ 区民生活や社会保障、区民経済に甚大な影響を与えるTPPへの参加と消費税増税には反対すること。

以上7点の立場を貫き、福祉と防災の品川をめざすことを求めました。

区内団体や個人から寄せられた具体的要望は245項目。詳しくは、共産党品川区議団HPをご覧ください。



放射能測定器を借り、1月21日、22日測定を行います。心配な個所、測定希望個所がありましたら、いいぬま事務所までご連絡ください。

「いま子どもたちを守るために
ママ・パパができること」
お話し会に参加しました



12月17日午後、港区女性就業支援センターホールには、お子さん連のパパママや若い方々250名が集まりました。原発事故後の放射能被害に対する関心の高さがうかがわれます。

お話は、NPO法人チェルノブイリの架け橋代表の日野美加さん。チェルノブイリに学び、子どもたちの被曝を防ぎたい、子どもたちの免疫力を高めるにはどうしたらよいか。2時間熱のこもった講演でした。

会は20年前からチェルノブイリの子どもたちの転地療養を北海道で引き受けてきました。(世界各地ではこのような保養を広く行っているそうです)汚染された土地で生

活し、食品を食べ続けている子どもたちの健康被害はなお増加し深刻。(チェルノブイリの医師やベラルーシで治療にあたった菅谷医師の報告による)

チェルノブイリから180キロ離れた村では子どもたちが次々に病気になること。この土地の大きな放射線量は、毎時0.5マイクロシーベルト。日本の現状と比較してみると、18日の福島市は毎時0.98マイクロシーベルトです。福島市より低い放射線量で廃村になった事実をどのよう

日本の高い暫定基準は決して安全基準ではありません。心配を口にすると「風評被害」と口封じを行う勢力に負けてはなりません。長期にわたる被曝、特に呼吸、食物による内部被曝の対策を急いでほしいです。

子どもたちの健康検査、空気・水・食品の細やかな測定、暫定基準値を引き下げ被曝予防に努めること、パパママと一緒に国と区に求めていきます。

☆親ができること☆

放射能を身体の中から排除させやすい食べ物：体の免疫力を高める酵素、ビタミン、ミネラル、アミノ酸などを効率よく摂取する。味噌、漬け物などの発酵食品、ペクチンが豊富に含まれた食品(リンゴ、桃、バナナなど)。そして便秘をしない事大事です。

2012新春講演会

1月6日(金)午後6時30分

きゅりあんイベントホール

お話し 小池晃 日本共産党政策委員長

いいぬま地域新春のつどい

2月12日(日)午後1時~3時

荏原第一区民集会所

区政報告 いいぬま雅子区議

バザーの御礼

12月18日(日)穏やかな一日。地球環境にやさしいリサイクル。恒例のバザーが無事に終了しましたこと、心から感謝いたします。

品物を提供してくださった方、買い物に来てくださった方、準備から当日のお手伝いまでたくさんの方々に支えられ成功しました。ありがとうございました。これからも地域に役立つ事務所であり続けるために頑張っています。

いいぬま雅子地域バザー実行委員会

無料法律相談1月20日(金)午後6時から8時、いいぬま雅子事務所にて弁護士が対応します。お気軽にご利用ください。2月は17日です。